

令和7年 桂川町
祝 二十歳のつどい



色 とりどりの振袖や袴、スーツで迎える晴れの日。1月12日(日)、桂川町住民センターで令和7年桂川町二十歳のつどいが開催され、101人が参加しました。

平成16年から平成17年生まれが対象の今年の参加者達。受付時間前から久しぶりに再会した友人らと写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたり、小学校の時に埋めたタイムカプセルを見ながら盛り上がったりと、旧交を温め合う様子が随所で見られました。

式典は、王塚太鼓保存会による演奏で幕を開け、井上町長や林議長からの祝辞が述べられました。また、大庭教育長は開式にあたり、「20歳を迎えられた皆さまの凛とした姿に、嬉しさと頼もしさを感じます。誠におめでとうございませう。」と参加者たちの門出を祝しました。また、参加者代表として登壇した吉田翔稀さんは、「私たちがこの日を迎えられたのは、先生や友達、家族など多くの方のおかげです。私たちはそれぞれ置かれている状況や立場は違いますが、自身の目標に向け努力し、周りの方への感謝を忘れず、一歩ずつ確実に精進していきます。」と井上町長に謝辞を述べました。

新しい門出の日を桂川町で迎えた参加者たち。明日への一歩をここから踏み出します。